

## 自立生活センター・小平通信

生活を豊かに彩る 「ゆにーく ゆあ らいふ」

ゆにーく  
YOUR  
らいふ

創刊号 1996. 6. 20.



1971年6月17日第3種郵便認可  
1996年6月20日発行  
毎月6回(5の日・0の日発行)  
SSK 第702号

### 「自立生活センター・小平」通信 目次

”はじめまして”・発足式	2
設立趣意書	3
センターの活動	4・5
スタッフ紹介	6・7
会員募集・センター周辺の地図	8

## ”はじめまして” 自立生活センター小平です。

私たちの団体は名称を自立生活センター小平（略称C I L小平）といい、今年の5月7日に正式に設立されました。

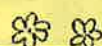
自立生活センターという言葉は聞き慣れないものだと思います。自立生活センターはアメリカが発祥の地で英語ではCenter for Independent Living (C I L)と呼ばれています。C I Lの活動には様々なものがありますが、基礎となることは障害当事者が「障害者」の自立をサポートすることです。いままで行政が行ってきた障害者自立対策を「障害者」のことを一番よく知っている者、障害当事者が代わって行うのです。

C I Lはその性格のために自立のために最も良い形とされ世界中に広がりました。日本では現在50以上も存在し、東京都においては16カ所以上が活動しています。

C I Lの数が多く東京では多くの「障害者」の自立が達成されています。私たちのセンターは今まで空白になっていた小平市に事務所を構えることになりました。C I Lの横への広がり着実に進んでいます。C I L小平は小平とその周辺の「障害者」が少しでも多く自立生活をおくれるように必要なサービスを提供してまいります。地域にこだわってきめ細かいサービスを目指してまいりますので皆さんどうかよろしく願います。



### C I L小平発足式



自立生活センター小平の発足式が5月7日に行われ、正式に活動を開始しました。会場となった小平市中央公民館には大勢の方々が集まってくださいました。都内の自立生活センター関係者や地元小平市の障害者団体の皆様にC I L小平の誕生を祝っていただきました。

発足式ではC I L小平のスタッフ全員が自己紹介もかねて挨拶し、設立に至った経緯を報告しました。また会場にいらっしゃった方々にお祝いの言葉をいただきました。その後は会場の方々と懇談し、有意義な時を持つことができました。

出席して下さった皆様にこの場をかりてお礼を申し上げます。お忙しい中どうもありがとうございました。

C I L小平は皆さまの期待に応えられるように努力しますのでどうかよろしく願います。



## C I L小平設立趣意書

自立生活センター小平は以下に掲げる趣意書における問題意識と目標をもって設立されました。私たちの原点がここにあります。

### 趣意書

現在、「新ゴールドプラン」に伴って次々と出されてくる、障害者関係の新たな施策にいずれも当事者の参加や情報提供が保障されず、相変わらず政府、行政主導の施策立案がなされています。その中で、実際にどれだけ当事者の立場に立った福祉施策を実現させるのか、私たち障害者側の力量が求められています。

「障害者基本法の改正」や「介護保険制度」「福祉のまちづくり条例」制定など様々な施策が進んだかのように見えますが、障害者の現実の日常生活の厳しさには変わりはありません。

ここ小平でも、障害者は自立困難と見なされ隔離的、保護的な生活を余儀なくされてきました。つまり、障害者は在宅で家族の介護のもとで暮らすか、施設で暮らすほかありませんでした。地域の中で自由に個性的な生活を希望してもできないのです。

私たち自立生活センター小平は、障害者が地域の中で自由に個性的な生活ができるよう活動していきたいと思っています。そして、行政主導ではなく、障害者が主導権を持ち、地域社会を変えていき、行政側から与えられる立場ではなく、障害当事者にサービスを提供する立場になりたいと思っています。

以下のことを活動内容とします。

- (1) 介護派遣サービス
- (2) 自立プログラム
- (3) ピアカウンセリング
- (4) 自立生活相談

## <CIL小平の活動>

CIL小平は障害者が地域で自立生活をするための支援を行います。活動内容としては地域で暮らすノウハウを学ぶ「自立生活プログラム」(ILP)、「介護派遣」、「制度相談」などがあります。

詳しい内容は以下で説明していきます。

まず私たちの提供するサービスで実現する生活とはどのようなものでしょうか。これまでは家族の介護で暮らすか施設に入るかの二つの選択肢しかありませんでした。CILは第三の選択肢を提案します。私たち障害者は行政から保障されている介護料で介護者を雇い、生活圏を広げ、自分の意志で暮らすことができるのです。

私たちの活動はすべて上で書いたような自立生活を実現するために行われます。障害者は家や施設など社会から隔絶された生活を強いられてきたためにすぐに社会参加をすることができません。社会参加をよりスムーズなものとするために、訓練の場を提供し生活の知恵を獲得するのがILPであり、制度相談なのです。

### 現在行われているサービス

#### **自立生活プログラム (ILP)**

ILPは自立生活センターの活動の中心となるもので、障害当事者が行うことでたいへん意義のあるものです。社会参加と自分らしい生活を送る基本となるものです。自立生活をこれからしたい人はもちろん、すでに自立生活をしていて再度自分の生活を問い直したい人も参加して互いの経験を共有することもできます。

具体的なプログラム内容としてはどういうものがあるでしょうか。まず第一に自立生活を「障害者」として営む上でのメンタルな部分を考えていきます。つぎに障害をもっている人も自立生活をおくるための様々な制度を学びます。これには手当てを始めとする経済的な自立のための制度、介護者を雇うための制度が含まれます。とっつきにくい制度をみんなで学ぶことで理解を深めていきます。第三に社会参加のための知識を養います。金銭の管理の仕方や電車の乗り方などがこれにあたります。第四には自立生活の重要な技術である

介護者との関係の作り方や料理の仕方を身につけます。

自立生活プログラムを受ければ自立生活がすぐ始められるというわけではありませんが、基礎的な知識を身につければそれだけスムーズに生活を始めることができます。

### 長期プログラム

毎週一回、10週連続のプログラムでじっくりと多くの事柄を学びます。

#### プログラム テーマ例

- ・障害ってなに？
- ・介護を頼もう
- ・フィールドトリップ
- ・制度学習
- ・お金の管理
- ・料理を作ろう など

\*プログラムの内容は参加者の状況に応じて変更されます。

☆第一回のプログラムは9月に予定しています。

### 短期プログラム

長期プログラムの内容からピックアップして行います。

例) 料理、電車を使ってのフィールドトリップ

### 自立生活相談(制度相談)

自立生活を支えてくれる制度について有料で相談に応じます。

#### 相談内容

各種福祉手当、生活保護、公的介護制度 など

### 介護者派遣

「障害者」が地域で自立するために必要な介護を有償で提供します。一人暮らしの方、家族と暮らしている方、施設にいる方など、介護者を派遣してもらいたい方と介護をしたい方の両者が会員登録してセンターがコーディネートします。

介護の内容は着替え、食事、入浴、外出など生活のすべてにわたります。

自立生活プログラムと介護者派遣を両立させることで「障害者」の自立を実現します。

## スタッフ紹介

これからセンターの運営にかかわるスタッフを紹介します。初回は3人のスタッフです。センターともどもよろしくお願ひします。

皆さんはじめましてC1L小平事務局長の黒田良孝です。新しく生れたセンターをより良いものにするために張り切って頑張っています。まだまだ未熟ですがどうかよろしくお願ひします。

私はこういう人物です。

障害名：筋ジストロフィー症

年齢：22歳

性格：おそらく温厚

趣味：読書とパソコンいじり

読書はいろいろなジャンルのものを読みますが、最近はいわゆるミステリーにこっています。好きな作家は島田荘司、綾辻行人などです。パソコンはDOS/V系のものを使っています。主に事務処理とパソコン通信に使っていますが将来はもっとマルチメディアに用途を拡大したいです。

黒田良孝



## 塚本良太

みなさん！はじめまして。事務局のスタッフの一人塚本です。東京に出てきて1年がすぎ、ここ小平の人たちと新しく関わっていく一人？デス。主に事務局会計を担当します。まあ裏方的存在と言いましょか。

自由気ママ、勝手気ママの私が仕事をするのですから、事務所はどうなってしまうんでしょうか！

一度事務所へ見に来て下さい。仕事をしているかどうかわかります？！

事務所はいつでもアットホームな雰囲気か漂っていますから、気楽にどうぞ・・・。

現在、恋人募集中！！

by RYOTA

昨年4月に香川県小豆島から小平市花小金井に転居しました。東京へ来る前までは、一人暮らしをしながら洋装店に勤務していました。その仕事も体力的に後何年できるか不安に思いながらすごしていました。しかし、仕事ができなくなった時、どういう手段で生活しようかと考え始めました。現在自分が仕事をしているから生活費もあるわけだけど、仕事ができなくなった時、どうすればいいのだろうか……。自分の先の人生を大事にしたい、充実させたいという思いで、自立生活の仕事を勉強させていただくために東京へ来ました。

東京に出てきて、まさか1年後に皆さんと一緒に「自立生活センター小平」をやっていると  
思っていました。一人一人の個性と力が集まれば、なんとかいいものができるのではないかと思います。まだ、始めたばかりで分からない事ばかりだけど、やる気だけは持っています。

川元恭子



奥は、CIL小平の代表

- 年齢 : 38才
- \* 独身 (結婚したいと思っていますが……)
- \* 障害 : 筋ジストロフィー
- \* 性格 : 努力家・遊び人 (理想)
- \* 好きなこと : 自然のなかでボートすること
- \* 東京での初体験 : コンビニのおむすびの食べ方 (小豆島ではコンビニがない)

皆さん!! 今後とも心から暖かく応援してください。

よろしく願い申し上げます。

### 編集後記

創刊号いかがでした? 少しでも私たちのセンターのことをわかっていただければ嬉しく思います。

「情報」これは障害者にとってはとっても大事なものです。「ゆにーく・ユア・らいふ」は多くの人にCILのこと、自立生活のことを伝えていきます。

第二号は発行予定ですが、原稿が足りるか心配。

編集担当 : ☺☻☼

# 会員を募集しています

I. 小平とその周辺にお住まいで、サービスを利用したい方

正会員 年会費 4200円

II. 自立生活センター小平の趣旨に賛同し、資金的援助をして下さる方

賛助会員 年間 2000円

振込先

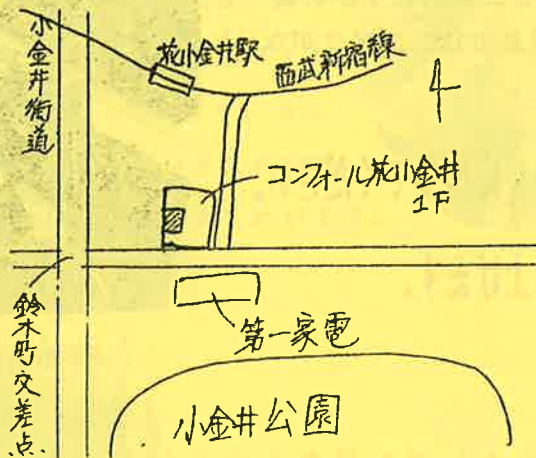
太平信用金庫 花小金井支店

(普) 1046863

自立生活センター小平

会計 馬場真美

事務所はこんなところにあります



## 制作：自立生活センター・小平

郵便番号187

東京都小平市花小金井南町1-12-2

コンフォール花小金井1F

TEL・FAX 0424-72-7235

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

編集人 自立生活情報センター  
〒187 東京都小平市花小金井南町1-12-2  
コンフォール花小金井1F

毎月6月15日の日発行)  
SSK通巻第702号

1971年6月17日第3種郵便認可  
1996年6月20日発行